

女性たちのキャリア観

【福岡の女性たちの仕事とキャリアに関する実態調査アンケート】

結婚・出産後も社会で働く女性たちが年々増えている。
仕事と家庭との両立が盛んに叫ばれる今、実際に女性たちは、
仕事と家庭、キャリアアップについて、どう思っているのだろうか？
福岡の女性たちの、仕事観・キャリア観を探ります。



<未婚> N=64 ※経験あり未婚をふくむ (総数120のうち)

●年齢

20歳～24歳	0.0%	40歳～44歳	15.6%
25歳～29歳	9.4%	45歳～49歳	9.4%
30歳～34歳	21.9%	50歳以上	6.3%
35歳～39歳	37.5%		100%

●雇用形態

正社員	68.8%	経営者	0.0%
契約社員	15.6%	フリーランス	0.0%
派遣社員	9.4%	休職中	0.0%
パート・アルバイト	0.0%	(その他6.3%)	100%

●職種

事務	56.3%	専門職	21.9%
営業	12.5%	管理職	0.0%
販売	0.0%	その他	6.3%
接客	3.1%		100%

●一緒に暮らしている人

一人暮らし	46.9%	自分の親	37.5%
配偶者・パートナー	12.5%	友人	0%
子ども	3.1%	その他	0%
義理の親	0%		100%

回答者のプロフィール

<既婚> N=56 (総数120のうち)

●年齢

20歳～24歳	0.0%	40歳～44歳	14.3%
25歳～29歳	10.7%	45歳～49歳	3.6%
30歳～34歳	39.3%	50歳以上	21.4%
35歳～39歳	10.7%		100%

●雇用形態

正社員	57.1%	経営者	7.1%
契約社員	7.1%	フリーランス	7.1%
派遣社員	7.1%	休職中	0.0%
パート・アルバイト	7.1%	(その他7.1%)	100%

●職種

事務	35.7%	専門職	28.6%
営業	10.7%	管理職	14.3%
販売	0.0%	その他	7.1%
接客	3.6%		100%

●一緒に暮らしている人

一人暮らし	3.6%	配偶者と子ども	39.3%
配偶者・パートナー	42.9%	自分の親	3.6%
子ども	7.1%	その他	3.6%
義理の親	0%		100%

仕事への意欲はある。でも収入には不満あり

Q1-1. 仕事への意識について教えてください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①現在の仕事にやりがいを感じる	28.3%	41.7%	25.0%	5.0%
②現在の収入に満足している	8.3%	15.0%	38.3%	38.3%
③心身ともに充実していると感じる	15.0%	50.0%	25.0%	10.0%
④資格を身につけるなどキャリアアップを目指したい	51.7%	31.7%	5.0%	8.3%
⑤自分の好きな仕事を続けたい	66.7%	28.3%	5.0%	0.0%
⑥趣味や自己啓発など自分の時間が取れている	20.0%	33.3%	33.3%	13.3%
⑦現在の仕事を長く続けたい	20.0%	35.0%	30.0%	15.0%
⑧仕事と生活のバランスが取れている	13.3%	41.7%	28.3%	16.7%

仕事にやりがいを感じる… 70.0%

キャリアアップ目指したい…83.4%

好きな仕事を続けたい… 95.0%

だけど…

収入に満足していない…76.6%

仕事へのやりがいやキャリアアップ・好きな仕事への意欲が高いことがみてとれる。前向きに意欲的に仕事に臨む女性たちの姿が垣間見える。が、収入には不満を抱えている人が多数いることも判明。

また、現在の仕事を続けたいとは思わない人、仕事と生活とのバランスに不満を抱いている人も4割程度存在している。

5年前より忙しい？WLBがとれていない女性たちの現状

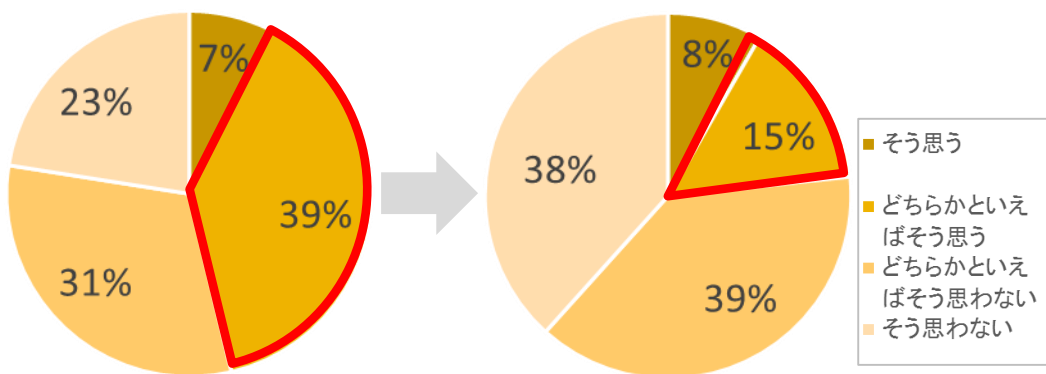
Q1-1を、5年前（2009年8月）の結果と比較。

◆特に差が大きかった下記2項目を円グラフで比較すると・・・

②現在の収入に満足している

<2009年>

<2014年>

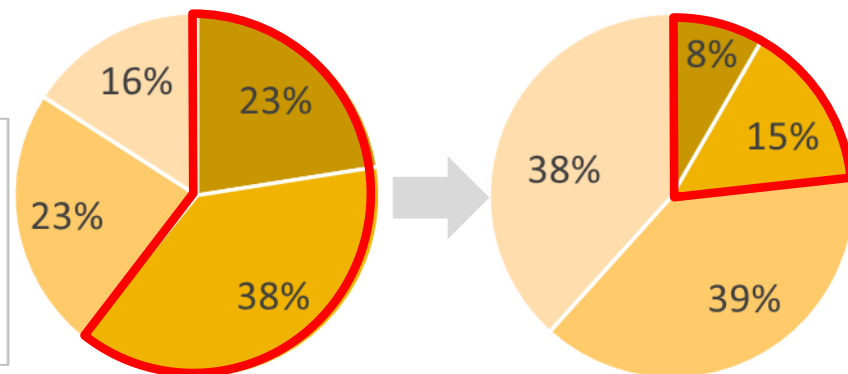


収入に満足しているかについて「どちらかといえばそう思う」という人が半分以上減少。

⑧仕事と生活のバランスが取れている

<2009年>

<2014年>



仕事と生活のバランスが取れているかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という人が1/3程度に減少。

2009年の結果は「2009年8月仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)調査結果」より

「現在の収入にどちらかといえば満足している」人は、5年前の半分ほどに減少していることが明らかに。また「仕事と生活のバランスがとれていない」人は5年前の1/3程度にまで減少していることが分かった。

長引く不況の影響でいまだ収入面の不満は溜まる一方、そして、職場環境の人材不足や多忙が影響してか、仕事と生活のバランスが取れていないと実感している人が、ますます増えているのかもしれない。

WLBを保ちながら、正社員として安定して働きたい！

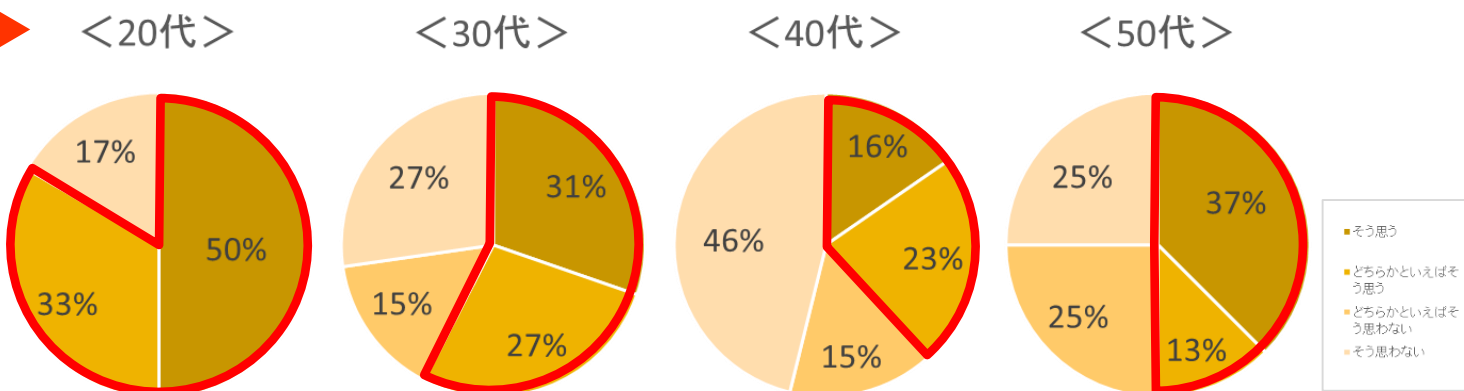
Q1-2. 仕事への意識について教えてください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①残業や休日出勤はしたくない	40.0%	40.0%	15.0%	5.0%
②正社員として働きたい	80.0%	10.0%	5.0%	5.0%
③ワークライフバランスを保った働き方をしたい	90.0%	8.3%	1.7%	0.0%
④自分の好きな仕事を追及したい	61.7%	28.3%	8.3%	1.7%
⑤独立志向がある(すでに独立している)	30.0%	25.0%	15.0%	30.0%
⑥生涯の仕事を手に入れたい	60.0%	26.7%	6.7%	6.7%

残業や休日出勤はしたくない、WLBを保ちたい、と無理のないペースで仕事をしたい女性が大多数だった。また、正社員として働きたい、という安定志向の高さもみてとれる。一方で独立志向にはばらつきがみられた。その理由は、年代差によるところが大きいようだ(下記へ)。

年代別にみると…

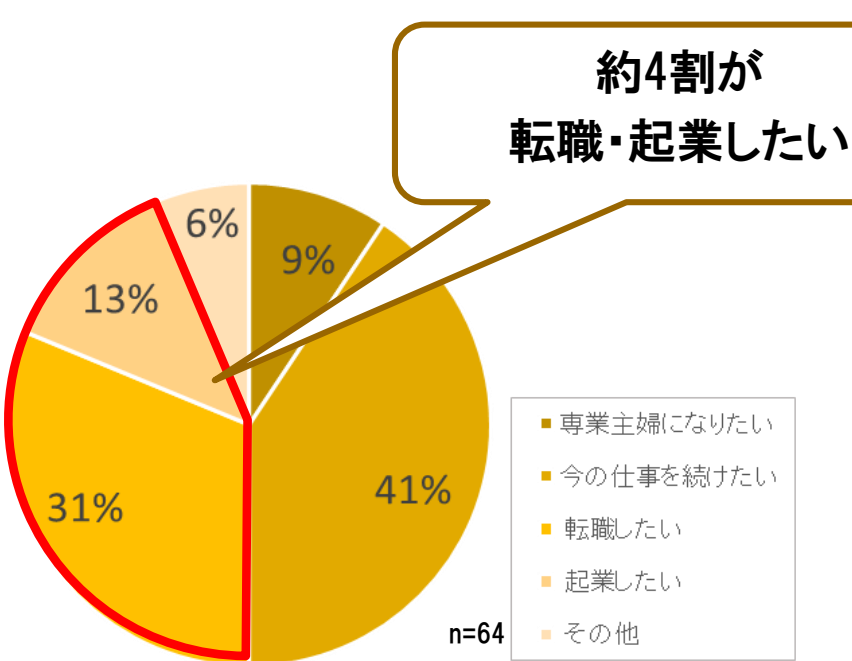
20代が最も独立志向が高いことが判明！
社会経験が少ないほど、
独立起業への意欲が高いということか？



結婚後も仕事はしたい。でもWLBも大切にしたい。

Q2-1. 【未婚の人へ】

結婚をするとき、仕事はどうしたいですか？



【その理由】

- 起業すれば**仕事とプライベートの時間のバランスが取れる**から。
- 起業して自分でスケジュール組んで働きたい。
- **今の仕事は朝早く夜遅いため家庭に割く自由がきかないイメージ**しかない。今の職場でWLBを保って働きたいとも思うけれど、今後のライフワークを考えれば、組織に囚われずに自分のアイデアでお店や会社をもちたいとも思う。
- 将来的に、**育児時間と仕事を自分でコントロール**したいから。
- 家庭との**バランスが取れる仕事**に変えたい。
- なるべく**子どものそばに**いられる働き方がしたい。
- **家事をしっかりとできる、無理のない仕事**に就きたい。

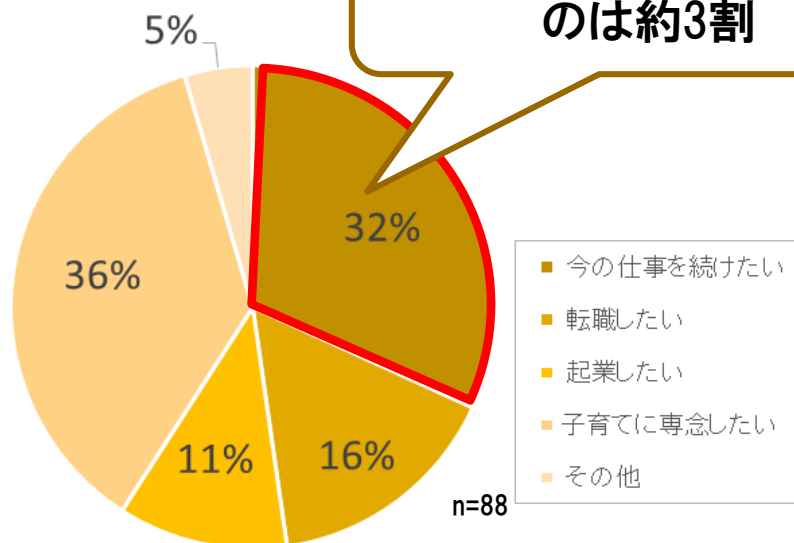
まずは未婚の人へ、結婚と仕事の継続についての意識を聞いた。「今の仕事を続けたい」派(41%)と「転職したい・起業したい」派(合計37%)とに分かれたが、あわせて8割が結婚後も何らかの形で仕事をしたいと考えていることがわかる。一方、転職・起業したい人の理由をみると、仕事と家庭とのバランス、WLBを重視するため、という意見が大半を占めていた。家庭や育児など自身のプライベートを大切にしたい働き方をしたい女性が一定数いることがうかがえる。

出産後の仕事①…続ける意欲は、会社制度・環境があるから

Q3-1. 【子どものいない人へ】

今後、もし出産の機会があったら、
仕事はどうしたいですか？

①今の仕事を続けたい
のは約3割



【その理由】

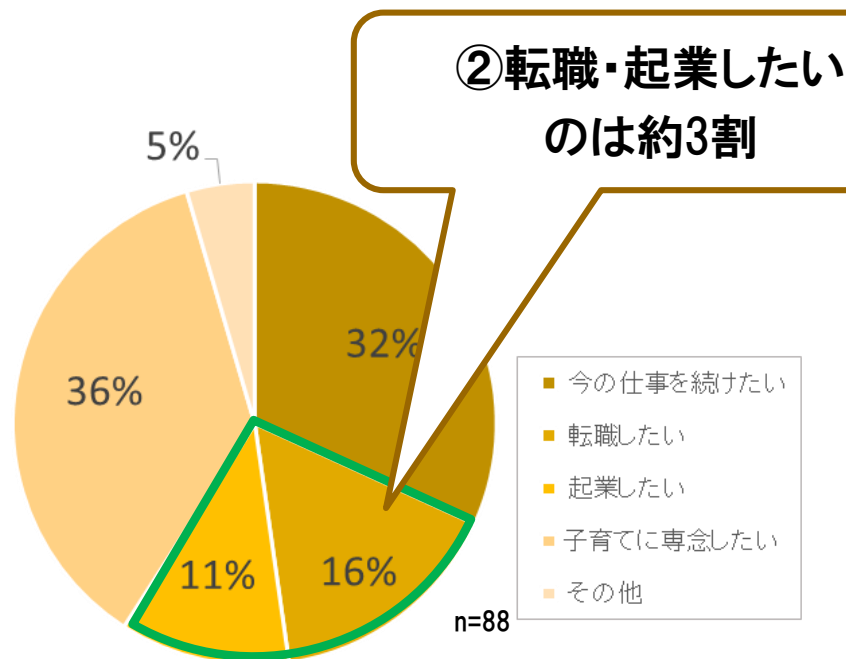
- 仕事、家庭のバランスを保つことで精神的なバランスも保てると思う。
- 会社の制度が比較的整っているし、実際に働いている人がいるので。
- 今、産休中で育休後には、仕事に復帰してバランスよく働きたい。
- 子育てしながら続けられる環境にあるから。
- 今の仕事は好きだし無理なくできるので、復帰できる環境さえあれば今の仕事がしたい。
- やりがいがあり、収入があり、仕事と私生活のバランスがちょうどよく取れる職場、働き方が理想。今の職場でそれができるならば、今の仕事のままでよい。

出産経験のない人の、出産と仕事の継続との意識について、出産後も「今の仕事を続けたい」と回答したのは約3割。その内訳は、仕事と育児両立の制度や環境が整っている会社に勤めている人が多数で、または環境さえ整えば今の仕事を続けたいという回答もあった。職場環境が、仕事を続けるかどうかのカギとなっていることが分かる。

出産後の仕事②…WLBを重視したい人は転職・起業志向

Q3-1. 【子どものいない人へ】

今後、もし出産の機会があったら、
仕事はどうしたいですか？



【その理由】

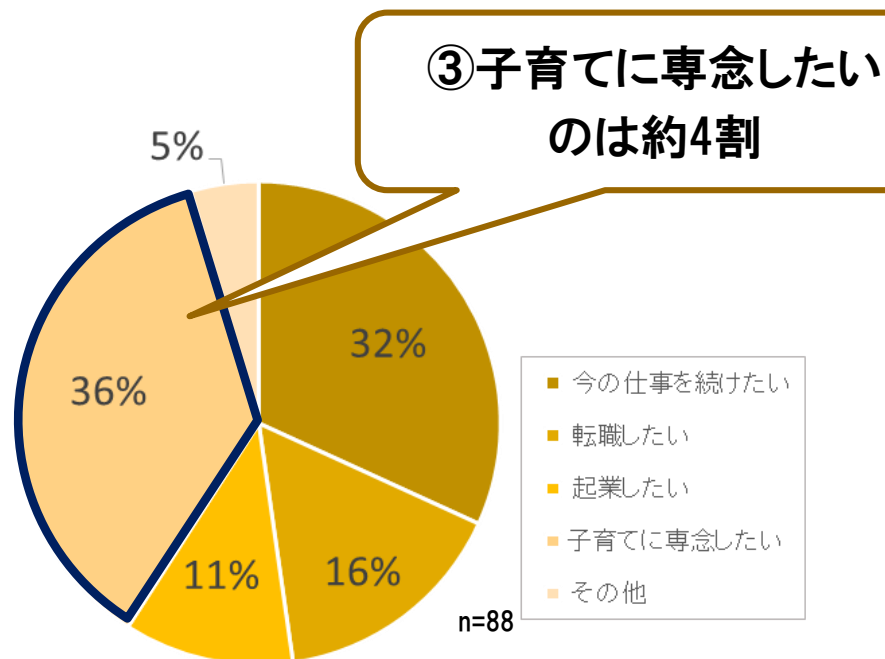
- 子どものための時間を多く取りたいので、**会社という組織に縛られない生活**をしたい。
- 今の仕事は残業が多く忙しすぎて、子育てしながら働くのには向いていない。**起業して自分のペースで働きたい。**
- 今の職場は家から遠いので、**働く時間を短くできる仕事に就いて**子育てと仕事を両立させたい。
- 今の仕事を続けたいが、**ハードワークなので子育てと両立できる自信がなく、転職した方がいいようにも思っている。**
- 子育てに専念したいとは思っていないが、現在の仕事が続けられるとも思っていない。

出産経験のない人のうち、出産後に「転職したい」「起業したい」人は約3割。今の仕事では難しいが、転職や起業をすることで無理のないペースで仕事と育児を両立したいと思っている様子。

また、今の仕事を続けたい、転職したい、起業したいをあわせた約6割以上の女性たちが、出産後も何らかの形で仕事は続けたいと考えていることが分かった。

出産後の仕事③…子育て専念派もいつかはまた働きたい

Q3-1. 【子どものいない人へ】
今後、もし出産の機会があったら、
仕事はどうしたいですか？



【その理由】

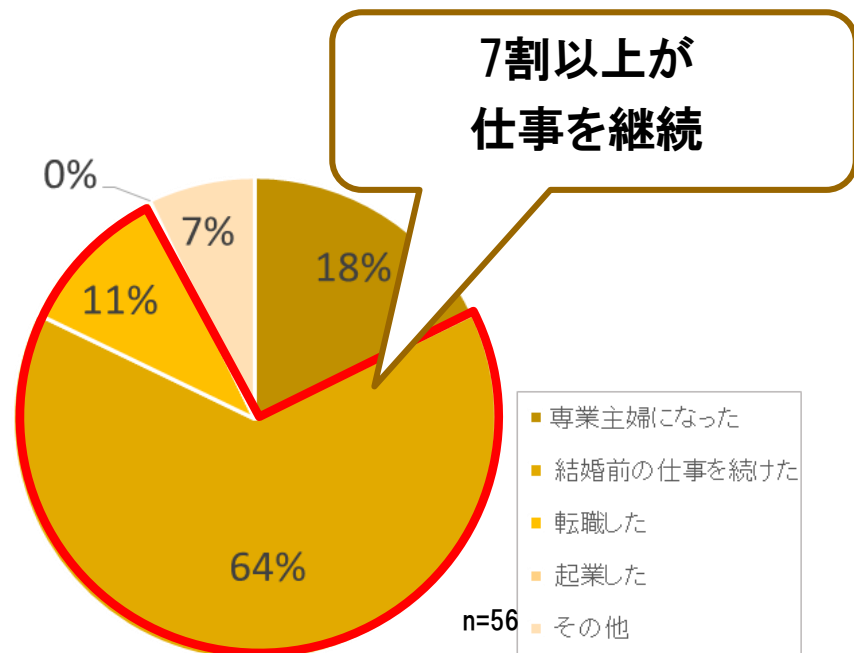
- 子どもが小さいうちは子育てに専念し、大きくなったら、また働きたい。
- 仕事は続けたいが、子どもが小さいうちは成長を見守りたいため。
- 小さい頃は、子育てに専念し、手がかからなくなったら、時間のゆとりを持った働き方をしたい。
- 子育てが落ち着いたら、経済的・社会的にもまた目標や目的を持って働きたい。
- 0歳～3歳までは子育てに専念したいが、その後は保育園に預けてできる範囲の仕事をしたい。

出産経験のない人のうち、出産後に「子育てに専念したい」人は約4割弱。しかし、その理由をみると、子どもが小さい頃(3歳頃)までは子育てに専念したいが、その後はまた働きたいという回答がほとんどだった。

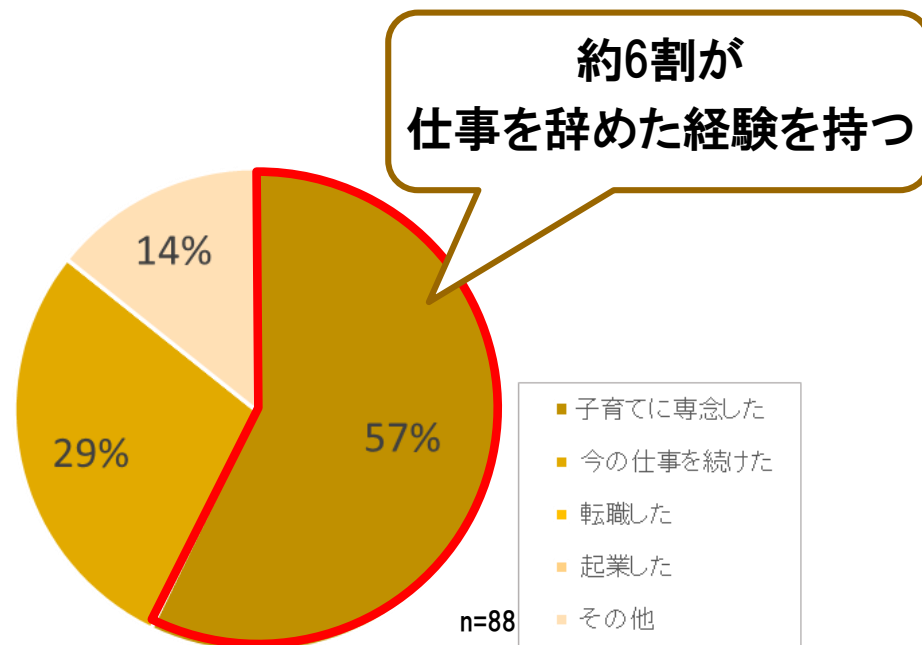
出産を機に退職する女性たちの多くが、仕事からずっと離れたいと思っているわけではなく、出産後、子どもがまだ小さい一定期間を子育てに専念したいために、やむなく退職を選択している可能性も高い。

出産が、仕事から離れる最大要因

Q2-2. 【既婚の人へ】
結婚したとき、仕事はどうしましたか？



Q3-2. 【子どものいる人へ】
出産したとき、仕事はどうしましたか？



既婚・出産経験者に、仕事の継続について聞いた。結婚したときに専業主婦になった(仕事を辞めた)人は2割弱で、7割以上が、「結婚前の仕事を続けた」「転職した」と回答。寿退職を経験した女性は、すでに少数派であることを示している。一方、出産をしたときに子育てに専念した(仕事を辞めた)人は6割にのぼった。全国平均よりは少ないとはいえ、福岡でも出産を機に退職する女性はまだまだ多いことがうかがえる。

【総括】福岡の女性たちのキャリア観は…

◆仕事には意欲的でキャリアアップもしたい。でも収入やWLBに不満あり。

仕事へのやりがいやキャリアアップ・好きな仕事への意欲が高く、前向きに意欲的に仕事に臨む福岡の女性たち。一方で、収入や仕事と生活とのバランスに不満を抱えている人も多く、そのため今の仕事は続けたくない人もいる様子。特に収入面やWLBに関しては、5年前よりもいっそう女性たちは不満を募らせているようだ。

◆WLBを保ちつつ、正社員として安定して働きたい。

残業や休日出勤はしたくない、WLBを保ちたい、と無理のないペースで仕事をしたい女性が大多数。また、正社員として働きたい、という安定志向も高い。一方で独立志向の意欲には年代との比例関係があり、20代が最も独立志向が高かった。

◆結婚後も仕事はしたい。でもWLBも大切にしたい。

8割以上の未婚女性が、結婚後も何らかの形で仕事をしたいと考えている。また、約4割が結婚後「転職・起業したい」と考えており、家庭や育児など自身のプライベートを大切にしたい働き方がしたい女性も多いようだ。

◆出産後は、【仕事継続したい派】と【一定期間子育て専念派】とに分かれる。

出産経験のない約6割以上の女性たちが、出産後も何らかの形で仕事は続けたいと考えていることが分かった。

出産後も「今の仕事を続けたい」人は約3割。現在の職場が仕事と育児両立の制度や環境が整っていれば、仕事を継続したいと考えている様子。また、今の仕事では難しいが、転職や起業をすることで無理のないペースで仕事と育児を両立したいと思っている女性も約3割だった。

一方、出産後に「子育てに専念したい」人は約4割弱。しかし、その理由をしてみると、子どもが小さい頃(3歳頃)までは子育てに専念したいが、その後はまた働きたいという回答がほとんどだった。出産を機に退職する女性たちの多くが、仕事からずっと離れたと思っているわけではなく、出産後、子どもがまだ小さい一定期間を子育てに専念したいために、やむなく退職を選択している可能性も高い。

◆出産経験者の6割が、出産を機に仕事を辞めた経験をもつ。

既婚者・出産経験者の仕事の継続の経験をたずねた結果、結婚による退職者は少数だったものの、出産による退職者は6割にのぼり、やはり出産が退職の大きな理由の一つとなっていることを物語っていた。

【総括】アヴァンティの考察

■調査結果からみえてきた、キャリア観に関する女性たちの2つの現状…

①【WLBをあきらめてキャリアをとる】or【キャリアをあきらめて子育て専念】の2択しかない

「子どもが小さいうちは仕事を辞めて子育てに専念したい」。今も一定数の女性たちがそう感じる背景には、女性は仕事か家庭か、のどちらかしか選択できないという意識が、いまだに根強くあるからではないだろうか。【家庭や育児へのゆとりを捨て、多忙なワーキングマザーとしてキャリアにまい進する】か【いったんはキャリアをあきらめて、専業主婦として子育てに専念する】。この2択の中でのみ、自分の将来を考えている女性が多いと予想される。

②既存のロールモデルでは、すでに女性たちのWLBの理想にはあてはまらない？

過去、そして今、仕事と家庭を両立する女性たちの姿を見て、その姿に自分の理想を重ねている女性は、どれほどいるだろうか…？「自分にはスーパーウーマンな働き方はできない」「私はもっと家庭や子どもとの時間を大切にしたい」。そうやって仕事と子育ての両立は無理だと思い込み、出産を機にキャリアを手放そうと考えている女性がいることも想像される。



社会が、職場が、多様な働き方を示す必要性あり！

仕事か家庭か、その2択を迫られるとき、起業や転職をし、組織から離れてWLBを実現したいと考える女性たちも多数いた。キャリアも手放さず、何とか自分らしい人生を実現したいと暗中模索している女性たちの姿が垣間見える。

だからこそ、社会や職場が率先して、より時間や場所に融通のきく働き方の多様性を示すこと。それが「仕事も家庭を両立できる！」と女性たちに思ってもらえる近道ではないだろうか？自分で裁量可能な起業家としての道だけでなく、現状パート等の選択肢でしか実現できない短時間勤務やフレックス制などを正社員にも導入したり、在宅勤務を推進して職場に縛られず仕事ができる環境の整備など、企業や社会が多様な働き方を理解し、取り入れる必要があると考える。

仕事には意欲的に取り組む女性たち。彼女たちの多くが、本当はもっとWLBを保って働きたいと思っており、転職や起業のきっかけもうかがっている。また出産を機に多くの女性が退職しており、子どもが小さいうちは子育てに専念したいという声も多いが、子育てが落ち着けば仕事に復帰したい女性が大多数。仕事と育児両立の制度や風土が整う職場に勤める女性は「今の仕事を続けたい」と答えているため、仕事と家事・育児が両立できる環境だと女性たちが実感することが仕事継続の意欲を高める鍵。または子育てのため退職・休職しても、その後スムーズに社会復帰できる制度や企業風土・社会整備、退職せざるも無理なく子育てに時間を割ける働き方の推進が求められる。



本件に関するお問合せは、
株式会社アヴァンティ まで

avanti

【データご利用の際のお願い】

データの引用、出版・印刷物への転載に関しては、出典元を「avanti働く女性研究所調べ」と明記していただければ、基本的にご利用いただけます。また、ご使用に際しては必ず下記の「avanti働く女性研究所」窓口までご一報ください。

E-mail : labo@e-avanti.com

TEL : 092-724-3226